

## 初期設定ガイド

本書は工場出荷状態から、本製品の初期設定を行うまでの流れを説明しています。初期設定をはじめの前に「はじめにお読みください」に記載されている警告や注意をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。また、本書はなくさないように、大切に保管してください。

## 設定をはじめの前にご用意ください

本製品はブリッジ接続での使用を推奨していますので、本書ではブリッジ接続を例に説明します。この場合、本製品は上位ルーターの下位に接続します。

### コンピューター

本製品の設定を行うコンピューターをご用意ください。

### LAN ケーブル

付属のLANケーブルまたは、コンピューターまでの距離に合わせて、別途LANケーブルをご用意ください。

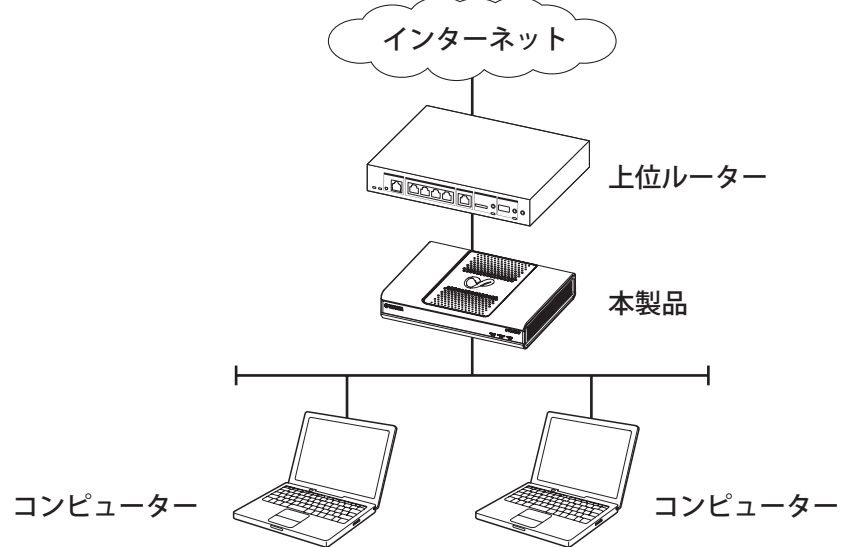
### お知らせ

1000BASE-Tをご使用になる場合は、エンハンストカテゴリ5（CAT5e）以上のLANケーブルをご使用ください。

### ネットワークの情報

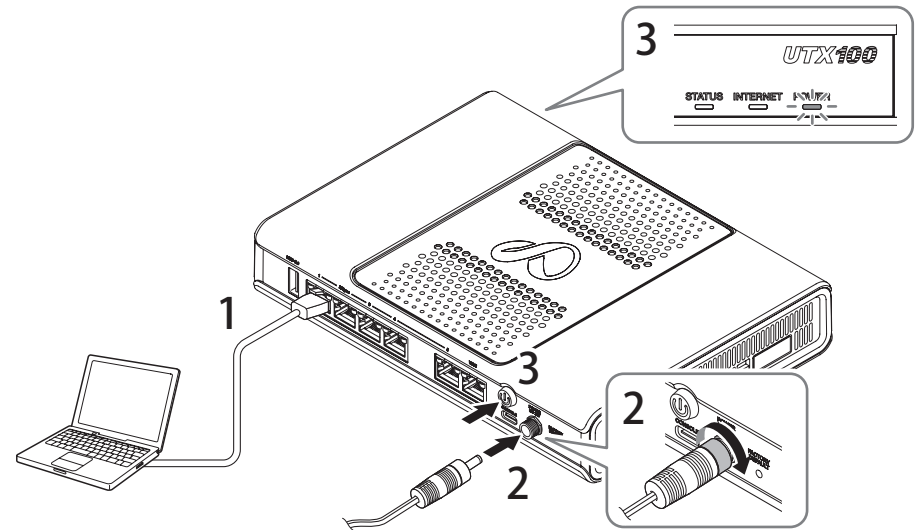
本製品を設置するネットワークの下記の情報をご用意ください。

- 上位ルーターのIPアドレス
- 設置環境のサブネットマスク



## 1. 本製品を起動する

初期設定が完了するまでは、上位ルーター側のケーブルは接続せずに行います。



- ① 本製品のLANポートにコンピューターを接続する。
- ② 本製品に電源アダプターを接続する。  
付属の電源アダプターを電源コネクタに接続し、抜け防止ナットを締め付けて固定してください。
- ③ 本製品の電源を入れる。  
UTX200は電源アダプターをコンセントに接続すると自動的に電源が入ります。UTX100は電源アダプターをコンセントに接続し、電源ボタンを押します。起動が完了すると、POWERインジケーターが青色の点滅から点灯に変わります。

### お知らせ

起動が完了するまで、約2～3分かかります。

## 初期設定ウィザードで設定する

工場出荷状態でWeb GUIへログインすると、初期設定ウィザードが表示されます。画面の指示に従い、初期設定を行ってください。

### お知らせ

- 初期設定ウィザードは、設定の途中で中止しても、設定内容は保存されます。
- 本書ではUTX100の画面で説明します。

## 2. Web GUIにログインする

本製品に接続したコンピューターから、Web GUIにログインします。本書ではGoogle ChromeからWeb GUIにログインする手順を例に説明します。

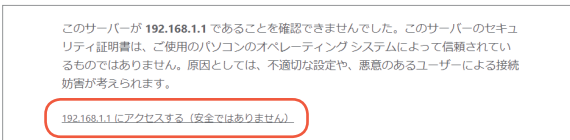
### お知らせ

推奨Webブラウザは技術資料(ウェブサイトに掲載)に記載しています。

- ① コンピューターでWebブラウザを起動する。
- ② アドレスバーに「https://192.168.1.1:4434/」と半角英数字で入力して、Enterキーを押す。
- ③ 「詳細設定」をクリックする。



- ④ 「192.168.1.1にアクセスする(安全ではありません)」をクリックする。



初期設定ウィザードが表示されます。「次へ」をクリックし、初期設定を行ってください。



### お知らせ

右上のメニューから、Web GUIの表示言語を切り替えられます。

## 3. 認証の詳細を設定する

管理ユーザー情報を登録します。「管理者名」と「パスワード」を設定し、「次へ」をクリックしてください。

### 管理者名：

工場出荷状態では「admin」が表記されています。セキュリティー確保のため、変更することを強く推奨します。

### パスワード：

管理パスワードを設定します。入力したパスワードは、●で表示されます。パスワードの確認：管理パスワードを再入力します。入力したパスワードは、●で表示されます。



## 4. アプライアンスの日付と時刻を設定する

ここでは手動で時刻を設定する手順を例に説明します。「手動で時刻を設定」を選択し、現在の日付と時刻を設定し、「次へ」をクリックしてください。



## 5. アプライアンスの名前を設定する

本製品の名前を登録し、「次へ」をクリックしてください。

### アプライアンスの名前：

この名前はレポートメール配信時にメールの件名に記載されます。工場出荷状態では「UTX-ID-XXXX(MACアドレス下8桁)」が表記されています。必要に応じて変更してください。

### ドメイン名：

必要に応じて入力してください。

### お知らせ

「アプライアンスの名前」と「ドメイン名」は、日本語には対応していません。半角英数字と「-」(ハイフン)で入力してください。



## 6. セキュリティポリシー管理を設定する

セキュリティ設定の管理方法を選択し、「次へ」をクリックしてください。本書では「ローカル管理」を選択しています。



## 7. インターネット接続を設定する

本製品を接続するネットワークに合わせて設定します。

- ① ネットワークの情報を設定する。

接続タイプ：  
初期で「ブリッジ」が選択されています。(変更不要)

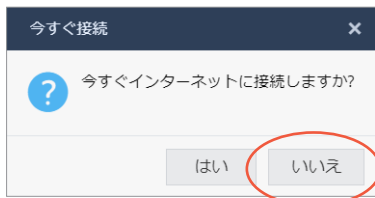
IPアドレス：  
本製品で使用するIPアドレスとして、上位ルーターのサブネットに属するアドレスを入力します。

サブネットマスク：  
設置環境のサブネットマスクを入力します。  
デフォルトゲートウェイ：  
上位ルーターのIPアドレスを入力します。

1番目のDNSサーバ：  
上位ルーターのIPアドレスを入力します。  
2番目のDNSサーバ：  
任意で入力します。

- ② 「次へ」をクリックする。  
「今すぐ接続」画面が表示されます。

- ③ 「いいえ」をクリックする。



## 8. 管理者アクセスを設定する

本製品のWeb GUIへのアクセス制限を設定します。詳しくはユーザーガイド(ウェブサイトに掲載)をご覧ください。



- ① 「管理者アクセスを許可する発信元を選択してください。」で、「WAN」のみを選択する。
- ② 「上記で選択した発信元からのアクセスを下記のIPアドレスから許可」で、「インターネットからの指定IPアドレス インターネット以外からの任意のIPアドレス」を選択する。
- ③ 「次へ」をクリックする。

## 9. アプライアンスを登録する

本書ではライセンスを有効化せず、トライアルライセンスを使用します。ライセンスについて、詳しくはユーザーガイド(ウェブサイトに掲載)をご覧ください。



- ① 「次へ」をクリックする。  
「警告」画面が表示されます。

- ② 「OK」をクリックする。



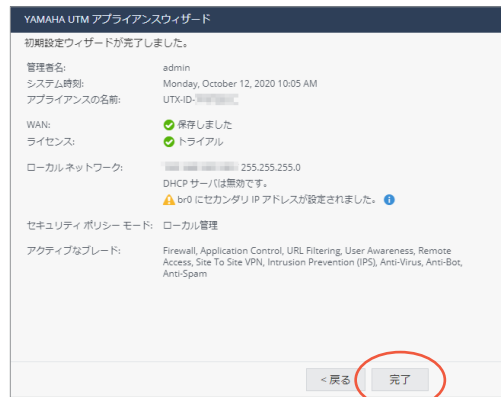
## 10. Software Bladeを有効化する

有効にするSoftware Bladeを選択し、「次へ」をクリックしてください。本書ではすべて選択しています。

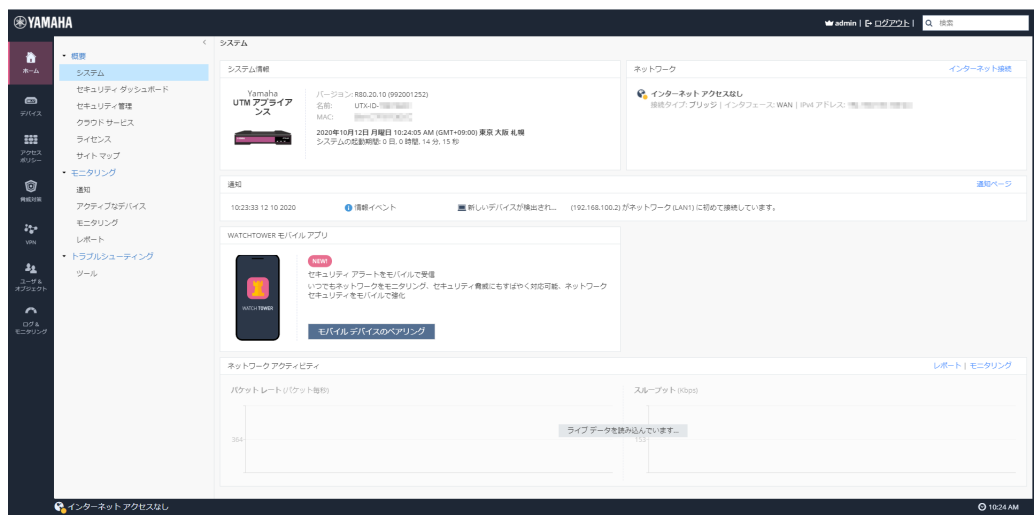


## 11. 設定内容を確認する

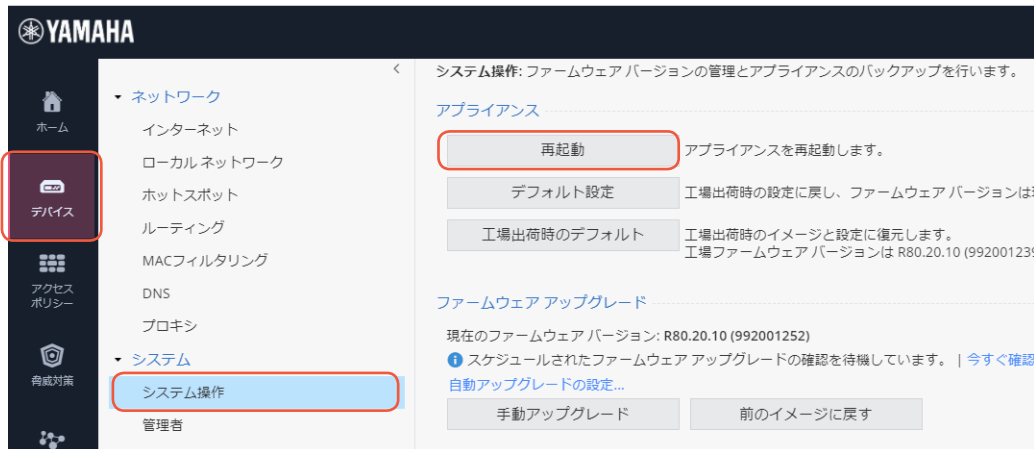
初期設定ウィザードで設定した内容に問題がないか確認します。問題がなければ「完了」をクリックしてください。



ホーム画面が表示されれば、初期設定ウィザードは完了です。



本製品を再起動し、「7. インターネット接続を設定する」で設定したIPアドレスで、Web GUIに再ログインしてください。



## 12. ネットワークに接続する

本製品をネットワークに接続してください。

- ① 上位ルーターのLANポートと、本製品のWANポートを、LANケーブルで接続する。
- ② 本製品のLANポートに、コンピューターなどをLANケーブルで接続する。

## 13. ライセンスを有効化する

トライアルライセンスの有効期間は30日です。ユーザーガイド(ウェブサイトに掲載)を参照して、トライアル期間内に正式ライセンスを有効にしてください。

## 初期化する

Web GUIにログインできないときは、本製品の電源が入った状態で、FACTORY DEFAULT ボタンを3秒以上押し、工場出荷状態に戻してください。詳しくはユーザーガイド(ウェブサイトに掲載)をご覧ください。